

豊橋や東三河のことを調べてみよう!

★豊橋や愛知県に関することを調べる

中央図書館の2階には「郷土資料コーナー」があります。
 「郷土資料」とは、豊橋や愛知県に関する本のことです。豊橋の歴史や偉人の伝記などの本が集められています。このコーナーの本も1階の本と同じように貸出ができます。

★本の並び方1・・・「分類ってなに？」

図書館の本の並び方には決まりがあります。図書館の本は、その内容によって大きく10種類に分けられています。それを「分類」といい、0～9までの数字で表しています。分類ごとに本を並べることで、探しやすくする工夫がされています。

《分類の主な内容》	
0：コンピュータ・百科事典	5：乗り物・環境・料理
1：宗教・哲学	6：農業・水産業・交通
2：歴史・地理・伝記	7：工作・音楽・スポーツ
3：社会・学校・伝説	8：ことば・ことわざ・漢字
4：理科・動植物・からだ	9：百人一首・詩・読み物

「郷土資料」本も同じ分類ごとに本が並んでいます。本の背中に貼ってあるシールの番号が分類番号です。

Ⓐのマークが付いている本が「郷土資料」です。

※Ⓐは「愛知(A I C H I)」の頭文字です。

★本の並び方2・・・「背ラベルについて知ろう」

図書館の本の背には「背ラベル」が貼ってあり、本の場所をあらわす役割があります。「背ラベル」の上の段には「分類」(本の内容をあらわす番号)が、下の段には「図書記号」といって本を書いた人の苗字やタイトルの最初の文字が書いてあります。

ここを背とよびます。

「背ラベル」には本の場所をあらわす住所のような役割があります。

Ⓐ分類番号
図書記号

郷土資料はグレー、児童向け図書は黄緑色、一般向け図書は紺色の背ラベルを使っています。
 (閉) マークがついている本は、
 書庫に入っている本です。

(閉)

分類番号
図書記号

分類番号
図書記号

★調べるテーマやキーワードを決めよう！

まずは何について調べるかテーマを決め、その手掛かりとなるキーワードを探してみましょう。

【ステップ1】

お城について調べたい



日本（世界）のお城？ お城の建て方？ 有名なお城？



豊橋の吉田城のことを調べたい

☆いちばん知りたいことが何かを考えてみよう！

【ステップ2】

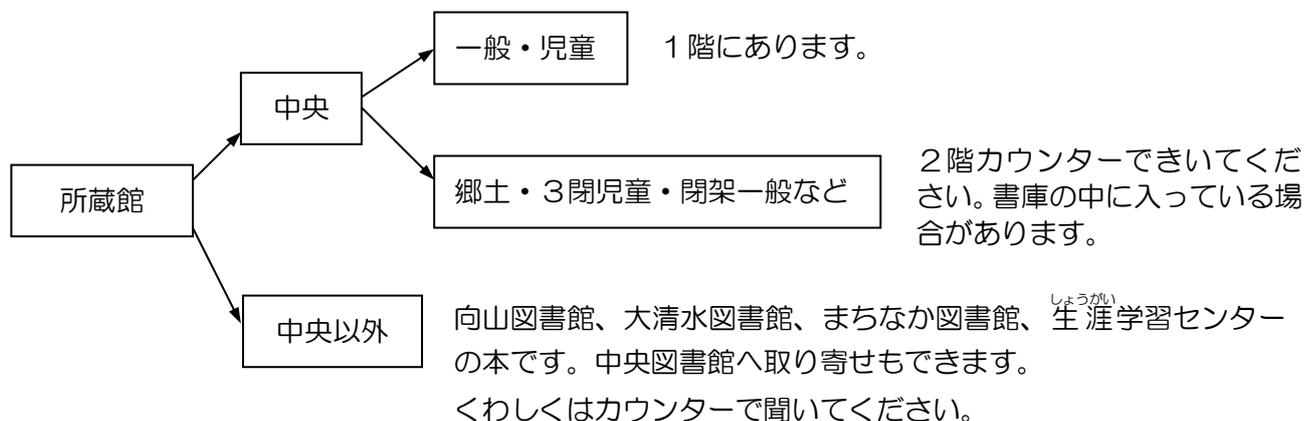
吉田城に関するキーワードは何だろう？

吉田城 吉田藩 豊橋 三河 城 武士 家 建物
堀 石垣 天守閣 豊橋公園 城下町 など…

☆いろんなキーワードを考えて本を探す手掛かりにしてみよう！

【ステップ3】

検索機を使って本を探し、実際に本棚に行ってみよう！



資料詳細

豊橋市図書館100年のあゆみ
豊橋市図書館100周年記念誌編集委員会/編集
出版者:豊橋市図書館 | 種別: 図書 | 予約数: 0

所蔵館	所蔵種	棚番号	請求記号	資料区分	状態	操作
中央	郷土	2階郷土11	/A016/1817/	郷土図	利用可	Map 印刷
中央	郷土	2階郷土11	/A016/181/	郷土図	利用可	Map 印刷
中央	歴史部	2階カウンタースターまで	/A016/1814/	郷土図	利用可	Map 印刷
中央	郷土	2階郷土11	/A016/1817/	郷土図	利用可	Map 印刷

「閉架郷土」「3閉児童」「閉架一般」などが出たら2階カウンターの人に聞いてみましょう。

資料詳細

豊橋市図書館100年のあゆみ
豊橋市図書館100周年記念誌編集委員会/編集
出版者:豊橋市図書館 | 種別: 図書 | 予約数: 0

所蔵館	所蔵種	棚番号	請求記号	資料区分	状態	操作
大清水	郷土	E11	/A016/1/	郷土図	利用可	印刷
大清水	郷土	E11	/A016/1/	郷土図	館内利用	印刷
石巻	石巻図		/A016/ /	郷土図	利用可	印刷
二川	二川			郷土図	利用可	印刷

所蔵館「向山」「大清水」「まちなか」など中央図書館以外になっている場合は、他館にある本です。中央図書館に取り寄せることもできます。

★^{ひゃっかしてん}百科事典を使ってみよう

百科事典は、色々な単語を頭文字の順番（五十音など）に整理し、それぞれの言葉の説明が書かれた本です。調べたいことは、最初に百科事典などを使い、おおまかに基本のことを理解してから、調査をすすめていきましょう。

豊橋市図書館にある百科事典（例）

○『総合百科事典ポプラディア』第3版 ポプラ社 2021年
中央図書館児童室、まちなか図書館キッズコーナーにあります（請求記号 ^{せいきゅうきこう} 03. 1/1）
貸出ができない本は、図書館の中でみてください。

○ジャパンナレッジ（インターネット版の百科事典）

中央図書館2階、まちなか図書館3階の、カウンターで申し込んでください。
（貸出券が必要です）

★データベースを使ってみよう

データベースとは、たくさんのデータを集めて使いやすいように整理し、調べられるようにしたシステムのことです。豊橋市図書館では、過去の出来事や本・雑誌にはのっていない情報をキーワードから探すことができる新聞データベースや、百科事典・辞書類を収録しているジャパンナレッジなどを使うことができます。中央図書館（2階）やまちなか図書館（3階）のカウンターで申し込みをして、データベースを使ってみましょう。

※豊橋市図書館の貸出券が必要です。



↑データベース
コーナーについて。



↑図書館にある
新聞について

★インターネットを使ってみよう

インターネットでは、手軽に情報を調べ、新しい情報を手に入れることができます。しかし、インターネットのサイトや情報は誰でも簡単に作ったり書いたりできるため、必ずしも正確だとは限りません。次のことに気をつけながら、正しい情報を見極めましょう。

- ・「誰が」「いつ」つくった情報やサイトなのか^{かくにん}確認する。
- ・いろいろな視点で読んだり疑ってみたり、他のサイトに書かれていることも比較して確認する。
- ・国、県、市町村や^{せんもんてき}専門的な^{きかん}機関、研究所などが運営しているホームページをしてみる。

調べ学習に役に立つインターネットのサイト（例）

○「とよはしアーカイブ」

豊橋市図書館が所蔵する郷土資料や豊橋市美術博物館が所蔵する歴史・美術資料などをデジタル化し、インターネットで公開しています。次のページで詳しく紹介しています。

○「ええじゃないか豊橋」

豊橋観光コンベンション協会による、豊橋の観光とお土産ガイド。豊橋とはどんなところか（概要）、歴史、特産などが紹介されています。

★「とよはしアーカイブ」を使ってみよう

「とよはしアーカイブ」とは、豊橋市図書館の郷土資料、豊橋市美術博物館、豊橋市文化財センター、^{ふたがわしゅうほんじんしりょうかん}二川宿本陣資料館が所蔵する歴史・美術資料の一部をデジタル化し、インターネットで公開しているデータベースのことです。豊橋市図書館のホームページからアクセスできます。



図書館のホームページのトップページからアクセスすることができます。



↑豊橋市図書館ホームページ



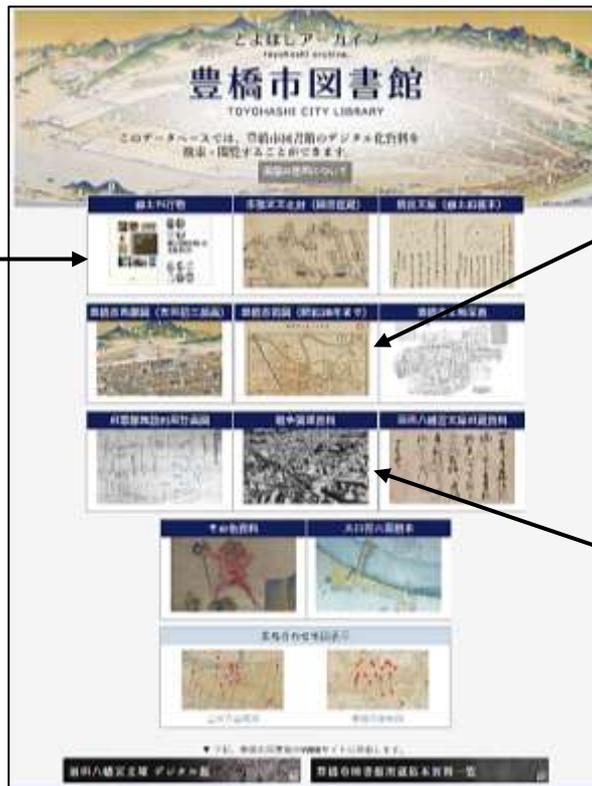
豊橋市図書館の写真をクリックすると、郷土資料を見ることができます。



↑とよはしアーカイブ

「郷土刊行物」では、豊橋市が刊行した出版物のなかで、調べ学習に役立つ図書をデジタル公開しています。

『とよはしの歴史』や『郷土豊橋を築いた先覚者たち』、『豊橋百科事典』、『知るほど豊橋』シリーズを見ることができます。



「豊橋市街図（昭和28年まで）」では、明治～昭和の豊橋の地図を見ることができます。

「戦争関連資料」では「平和を求めて」図書館資料展の目録や、昭和20年6月の豊橋空襲や郷土の軍隊、戦前の街の様子などの写真を見ることができます。

【とよはしアーカイブの郷土刊行物で調べられること】

『とよはしの歴史』→小中学生向けに作成した通史の解説書で、郷土史を調べるための入門書です。

『郷土豊橋を築いた先覚者たち』→豊橋の偉人^{いじん}についてまとめられています。

『豊橋百科事典』→豊橋にゆかりのある人物から風土、自然、市の成り立ち、出来事などあらゆることを簡潔にまとめた百科事典です。

『知るほど豊橋』→歴史や伝統文化、観光地など豊橋にまつわるトピックを本にしたシリーズです。全10巻。